



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	生物教育におけるコンピテンシーの育成に関する基礎的研究：特に「生命観」に着目して〔論文内容及び審査の要旨〕
Author(s)	金本, 吉泰
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(理学)
Dissertation Number	甲第15561号
Issue Date	2023-06-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/90560
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Yoshihiro_Kanamoto_review.pdf, 審査の要旨



学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称 博士(理学) 氏名 金本吉泰

審査担当者 主査 教授 重田勝介
副査 教授 松王政浩
副査 教授 池田文人
副査 教授 山口悦司
(神戸大学大学院 人間発達環境学研究科)

学位論文題名

生物教育におけるコンピテンシーの育成に関する基礎的研究：特に「生命観」に着目して

博士學位論文審査等の結果について(報告)

近年、生物教育において育成すべき資質・能力に関する研究が盛んに行われている。しかし、その多くは学習指導要領における「知識および技能」、「思考力、判断力、表現力等」を育成することを目的としており、生物教育における「学びに向かう力、人間性等」を育成する手法は未開拓の分野で、今後の発展が待たれている状況にある。

本論文は、このような状況下にある生物教育について、コンピテンス基盤型教育に基づき、生徒に育成すべきコンピテンスを整理し、高等学校の生物教育における「学びに向かう力、人間性」の中でも生命観の育成を目的としたものである。この目的のために、生物教育において育成を図るコンピテンスと生命観の関係整理を整理し、コンピテンスの育成を目的とした授業実践の評価により、その可能性と課題を実証的に検討した。その結果、生命観の育成は生物教育におけるドメイン・オブ・コンピテンスの一つ「五感を通して感性を磨く」に含まれるコンピテンシーの一つとして位置づけられることが明らかとなったが、その育成が容易でないことが示唆された。そのため、高校生が現状有している生命観の現状を明らかにするための調査を複数回、複数の学校間で実施した。その結果、先行研究では扱われていなかった生命観の捉え直しが必要であること、生命観の中でも生命の「価値」に関する認識に性別間の相違があることが明らかとなった。これを受け、生命観の中でも生命の「価値」を解剖実習により育成する授業を開発し、教育実践の評価を通してその有効性及び課題検証した。その結果、生命の「価値」に関するコンピテンスが十分に育成されることが明らかとなった。

これを要するに、著者は、生物教育におけるコンピテンス基盤型教育に基づいた、「学びに向かう力、人間性等」の中でも生命観を育成する教育の具体的かつ実践的な指導方法について新たな知見を得たものであり、生物教育における新たな資質・能力の育成に対して貢献するところ大なるものがある。

よって著者は、北海道大学博士(理学)の学位を授与される資格あるものと認める。